

加藤病院に新しいメンバーが加わりました



令和4年度は、新規入職者として、12名を迎えてスタートしました。看護職、作業療法士、管理栄養士、臨床心理士、精神保健福祉士、事務職と、様々な職種となりました。今後ともどうぞよろしくお願いします

医療法人雄仁会・社会福祉法人雄仁会

求人のご案内

雄仁会の各施設では、資格をお持ちの方、経験のある方はもちろん、看護や介護の経験や資格のない方も歓迎します。パート勤務も可能です。お近くのハローワーク又は病院事務部にご遠慮なくご相談ください。応募される前に病院見学も行っています。

○職種【必要な免許・資格】

- (1) 正看護師【看護師】
- (2) 准看護師【准看護師】
- (3) 看護助手【不問（免許・資格は不要）】
- (4) 介護職（介護福祉士・通所サービス）【介護福祉士】
- (5) 介護職（通所サービス）【不問（免許・資格は不要）】
- (6) 介護支援専門員（ケアマネージャー）【介護支援専門員（ケアマネージャー）】

加藤病院地域医療連携部に直通電話番号を開設しました。

☎0974-63-0130（地域医療連携部直通）

受診のご相談・ご予約は、地域医療連携部（直通電話0974-63-0130）までどうぞ。
（地域医療連携部の相談員が対応させていただきます。）

相談受付時間 月～金曜日 8:30～16:30

加藤病院の代表番号は、これまでどおり0974-63-2338です。

広報誌 ゆうじんかい

基本理念 安全 ● 信頼 ● 満足

TOPICS

理事長挨拶

令和4年も半年が過ぎました。昨年同様に新型コロナウイルス感染症対応に追われる日々です。2月にはロシアがウクライナに軍事侵攻するという予想外の事態が起こり、世界中に影響が広がっています。

新型コロナは2年以上拡大減少を繰り返しています。ウィルスは形を変えて感染力は強くなりましたが、弱毒化しています。雄仁会の加藤病院、岡の苑、和の郷、こころの郷、木もれ陽の外来、入院、入所、通院、通所、訪問等では、皆様のご協力のもと万全の感染防止対策を実行して新型コロナ感染者ゼロで経過しています。今後も十分注意が必要です。

私たちが暮らす竹田市と豊後大野市の大分県豊肥地域は日本で最も高齢化が進んでいます。日本の人口推移は出生数84万人に対し、年間死亡数は137万人で毎年50万人減少しています。2019年1億2600万人の人口が、2040年には1億1100万人になります。大分県の人口も現在の110万人から減少します。若年層の労働力人口は減少、しかし高齢者は増加します。

今後2～30年は精神科医療、高齢者介護福祉は認知症を中心にニーズは高まりますが、働く人の確保がとても難しくなっています。このような現実のなかで、今年度は労働力対策として、病院に電子カルテを、介護にデジタル機器の導入を計画しています。マンパワー不足を最新テクノロジーでどのようにカバーできるのか検討していきます。

同時にスタッフの確保とレベルアップを積極的に行っています。4月には看護師、管理栄養士など12名が新たに加わりました。またスタッフが精神科医療安全士、診療情報管理士の資格取得をしました。新型コロナ発生直後には院長を中心に新型コロナ感染対策委員会を立ち上げて感染防止を徹底しました。全国で感染が広がる困難な状況の中でも必要な教育研修は継続しています。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は4か月過ぎた今も続いています。世界の流通、金融等への悪影響が日本にも及び、日々の生活にもでてきました。食料品、日用品、燃料価格高騰など次々と不安がひろがります。このような毎日ですが、地域での生活は守らなければなりません。いろいろな状況に対応しながら、雄仁会の基本理念である「安全・信頼・満足」を地域の皆様にお届けできるように日々研鑽を続けます。どうぞよろしくお願いいたします。



理事長 加藤一郎

イベント・行事紹介

【精神科デイ・ナイト・ケア】 「竹田市体育センター 風船バレー」

精神科デイ・ナイト・ケア(ステップハウス)では、市の公共施設を利用した、運動プログラムを取り入れています。コロナ禍のため、野外で思い切り体を動かす機会が減っていたので、参加者の方々は久しぶりにたくさんの汗をかきながら、リフレッシュできたのではないかと思います。



【グループホーム和の郷】

6月11日(土曜日)は菅生の畑(職員宅)へ「ジャガイモ掘り」に出掛ける予定でしたが、朝からあいにく小雨がぱらつき、イモ掘りは中止となりました。それでも皆さんは以前から楽しみにされていたので、マイクロバスに乗って職員宅に向かい用意してくれていた「酒まんじゅう」をいただきました。日頃おトイレの近い方もこの日はすっかり忘れたようで、久しぶりの外出を満喫されていました。



【重度認知症デイケア】

6月15日水曜日、岡の苑オレンジハウスでは、茶話会の一環として、プリントハンカチ作りを実施しました。その日の利用者全員が、それぞれクーピークレヨンで材料にして、ハンカチに絵柄を描いていきました。最後にアイロンで仕上げをしてできあがりとなりました。利用者は「模様はどうしようか」、「色合いはどうがいいかな」といろいろと考えながらの作業でした。普段なかなか活動参加の難しい利用者の方でも積極的に取り組むことができ、とても良い時間となったようでした。今後もいろんなことにチャレンジしてってもらいたいと思います。



患者さんに頼られる看護師になるために 看護職の教育研修プログラムを充実

医療法人雄仁会では、昨年度中に「新人看護師教育研修プログラム」「看護技術マニュアル」を策定し、今年度の看護職の教育研修を、年間計画により実施しています。プログラムやマニュアルに基づき、看護技術の実践やコミュニケーションなどについて学習し、技術・知識を習得することを目的としています。新人看護職を含む合同研修をはじめ、より実践的な症例検討研修を通じて、自ら考え実践する力を身に付けていけるよう研修を重ねています。6月に

は、2回にわたり新人看護職を対象として、患者様の急変時の対応を学習し、BLS(Basic Life Support: 一次救命処置)などの初期対応研修を開催しました。研修では、加藤悦郎内科診療部長の指導により、今年度導入した手技トレーニングや看護教育での実習を行うためのシミュレータ(看護教育での実践訓練を行う模擬訓練モデル)を活用し、より実践に近い技術研修となりました。



連携機関・施設のご紹介

株式会社華陽会(しらゆり・はなちゃんのパン工房)

就労B型継続支援事業所「しらゆり」は株式会社華陽会が運営しています。2009年に明治小学校跡を利用して開所し、障がいのある方がありのままの自分で輝き、働くことの楽しさとお出合いの場所を私たちは目指しています。

お仕事は多岐に渡り、地元の食材を使った佃煮や野草茶づくり、内職の下請け作業(現在8社)、給食調理、農福連携による実習など、その方の得意なことに合わせて選ぶことができます。様々なお仕事を通して実践力を養えるのがしらゆりの魅力です。

2011年には地元で愛される味を目指して無添加で作る「はなちゃんのパン工房」が久住に開設しました。パンの仕込みから焼き、販売まで専門のスタッフがサポートしています。その他にもグループホームが2ヵ所(各4名)あり、地域の方の暖かい見守りのもと、自立した生活を送れる環境が整っています。高齢化や人手不足、長引くコロナの中で、事業も年々難しくなっておりますが変化に対応しながら今後も頑張っております。

(株)華陽会 所長 若山隆史



当院からのメッセージ

作業の種類が多く、それぞれの能力に合わせて選択できるということが華陽会さんの大きな魅力であり、当院の外来患者さんも利用されている方が多く、いつもにこにこ嬉しそうに通われています。利用者さんのために行事活動なども多彩に取り組まれており、温かい雰囲気を受け入れてくれる優しい事業所です。

活動や日々の事等をInstagramに投稿されています。とても素敵なので皆さんも是非ご覧ください。

【加藤病院 地域医療連携部】

社会福祉法人 雄仁会 特別養護老人ホーム 「こころの郷」

「こころの郷」は地域密着型介護老人福祉施設で3ユニット29床からなり、平成24年2月の開所から10周年を迎えることができました。これまで、基本目標に掲げる笑顔で楽しく安心して暮らせる場

として、また、入居者様お一人お一人の生活習慣や好みを尊重し、自宅と同じ暮らしが継続できるように真心を込めた質の高いケアを目指してきました。

最近では、入居者様へのケアの質の向上と同時に、介護従事者の腰痛予防対策として福祉用具(スライディングボード、電動床走行式リフト、入浴用ストレッチャーなど)を活用した「抱え上げない・持ち上げない介護」を基本とした「ノーリフティングケア」に取り組んでいます。

これからも、入居者様やそのご家族、そして地域皆様に愛される施設として歩んでまいります。

